

番号	コメント内容	回答
1	<p>上流域の水質保全への取り組みについてですが、上流の浄化センターへのリンの除去剤の投入などを行っています。上流部では未だに高度合併浄化槽への移行が進んでいません。そういった面での対策は何かないのでしょうか。</p>	<p>相模川上流域における生活排水処理率の向上については、山梨県と市町村が、引き続き普及啓発などを積極的に進めております。神奈川県も山梨県の普及啓発活動である「下水道まつり」に参加してきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、近年は参加が出来ていない状況です。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、普及啓発活動に協力していきたいと考えております。</p>
2	<p>鹿の繁殖で下草が食べられ、森が荒れる原因があるそうですが、鹿狩りなどはどのようになされているのですか？</p>	<p>県で行うシカ管理捕獲は、猟友会等に委託して行う方法と、野生動物に関する専門的な知識を持つワイルドライフレンジャーによる高標高域での捕獲を組み合わせで行っております。</p>
3	<p>桂川でのリン除去のようすが紹介されていましたが、国土交通省さんなどが肥料などの資源化を推進されています。 神奈川県さんは除去されたリンの活用について、どのようにされているのでしょうか。</p>	<p>桂川清流センターでのリン除去については、山梨県が実施する事業について経費負担しているものです。 除去されたリンについては、汚泥として処理しています。</p>
4	<p>市民活動の補助金に興味があります。流域の上流部、山梨県で活動する団体の活動も対象になるのでしょうか。</p>	<p>水源環境保全・再生に関する普及啓発・教育事業については、県外の相模川上流域での活動も対象となりますが、 ア 施策大綱の趣旨に合った水源環境の保全・再生に資する普及啓発・教育事業であること イ 神奈川県に在住、在勤、又は在学する者を対象に含む事業であること ウ 水源保全地域における水源環境保全・再生活動のプログラムやその活動経験に基づく学習プログラムが盛り込まれている事業であること のすべての要件を満たす必要があります。</p>
5	<p>野生動物救護の会さんに意見というか質問がございます。丹沢山中ではなく、丹沢のふもとの厚木市七沢での調査結果で哺乳類12種、鳥類30種という多様な生き物が生息していることが分かったということは神奈川県に豊かな自然があることが分かりました。 今後も調査を継続されることを期待したいと思います。 できれば、七沢だけでなく、他の地域でも調査を行っていただければと思います。 が、今後の取り組みについて教えていただけますでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 今回のフォーラムでは、団体の事業に対する質疑はお受けしておりません。団体のホームページ等から直接お問い合わせください。</p>

番号	コメント内容	回答
6	<p>もりのなかまさんから、水源として、人工林の保全のために植林だけでなく、その後の間伐は大切な作業の一つと言われている、その作業を行われていることはありがたいことだと感じました。</p> <p>登山道での標識用のくいなどの事例をあげていらっしゃいました。行政も間伐材を活用されていることが分かりました。</p> <p>間伐材の利用について、さらに広げていただければと思います。</p> <p>神奈川県さんなど行政の間伐材の利活用についての施策がありましたら、教えていただければと思います。</p>	<p>神奈川県では、県産木材（間伐材を含む）の利用を促進し、持続的な森林づくりや地球温暖化防止の観点から「神奈川県建築物等における木材利用促進に関する方針」を制定しています。</p> <p>また、平成7年度から、森林や木材業関係の民間事業者の方々との連携により、「かながわ木づかい運動」に取り組んでいます。</p> <p>「かながわ木づかい運動」では、県民の皆様にも、木材利用に関する正しい理解をしていただくための県産木材の普及PR活動や、木製小物から家具、建具、建築用製材品、木製品、住宅に至るまでの県産木材の様々な製品開発や利用促進を通じて、県産木材の需要拡大に取り組んでいます。</p>
7	<p>7 森林のなら枯れの問題はどう考えているのでしょうか？</p>	<p>本県では、平成29年からナラ枯れ被害が発生していますが、県・市町村・森林所有者等が一体となって効果的な被害対策を進めることができるよう、令和3年度、被害状況に応じた対策の考え方や具体的な予防・駆除等の手法を示した「ナラ枯れ被害対策ガイドライン」を作成し、市町村や所有者等に対して、助言指導や技術的支援をしています。なお、水源林地域の様々な樹種が混交する広葉樹林においては、被害を受ける樹種の一部が枯れても森林は維持されると考えています。ナラ枯れ被害を受ける樹種の占める割合が高い森林で集団的な枯れが生じることがないかなど、今後の被害の状況について注視していきます。</p>
8	<p>8 環境科学センターの環境DNAの調査に興味があります。県外の上流部での調査も行われているのでしょうか。県民参加とのことですが、山梨県内での調査があれば、協力したいです。</p>	<p>神奈川県民による県内の河川の調査であり、山梨県内での調査は実施しておりません。</p>

番号	コメント内容	回答
9	<p>良質な水の安定的確保という目的の他に森林における人的交流やこれまで放置されてきた森林に人の手が入り木材が利用されるなど水源環境税の効果は幅広い分野に及んでいます。このような活動は森林がある限り、水源を必要としている限り継続してくべきだと思います。</p>	<p>大綱期間終了後については、第4期計画期間中に、有識者や環境・林業の分野における関係団体、公募委員等で構成する「水源環境保全・再生かながわ県民会議」から、これまでの取組に対する総合的な評価と、大綱終了後に向けた意見をいただきます。併せて、県民の皆様や県議会、市町村等からも御意見を伺いながら、県として取組を検証し、今後の施策の方向性を検討していきたいと考えています。</p>
10	<p>鹿のジビエの肉料理を使うことを野生動物救護の会の方は、どのように思われていますか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 今回のフォーラムでは、団体の事業に対する質疑はお受けしておりません。団体のホームページ等から直接お問い合わせください。</p>
11	<p>順応的管理は必要不可欠だと思います。市民、行政、企業、学術分野が一体として事業を進めるにあたって、順応性は、政策面でも行われているのでしょうか。</p>	<p>順応的管理とは、あらかじめ予測できない自然環境等の変化について、モニタリングにより検証しながら随時、施策の見直しをする管理システムで、主に環境問題に対する政策において用いられます。本施策においても学識者や公募委員等で構成する県民会議を設置し、順応性の向上に努めています。</p>
12	<p>相模湖のアオコ減少について 相模湖に行きますと大きな泡が出ているのを見かけ、エアレーションという湖底にある水温の低い水を水面に上げて水温を下げてアオコを防ぐ仕組みと聞いたことがあります。 アオコが減少したというのは、栄養塩の減少によるものか、エアレーションによるものか、主にどちらによるものか教えていただけますでしょうか。 臭いがしない美味しい水をいただくためにも気になっております。</p>	<p>アオコの異常発生は、エアレーション開始以降減少しています。また、アオコの発生数自体は、水源環境保全・再生施策開始以降減少傾向にあります。 両施策の相乗効果により、現在、アオコの異常発生は抑えられていると考えております。</p>
13	<p>水源税を使った森林整備事業等の公共工事の入札要件についての提案です。 一般県民を対象とした森林整備体験や森林環境に関する授業を学校で行うなど水源環境保全の普及啓発活動をした事業者のみが入札できるという発注形式があってもよろしいのではないのでしょうか。 県民に対する普及啓発ができると同時に事業者自身にも水源環境を保全しているという意識が高まるという効果が期待できます。</p>	<p>契約方法には様々な方法がありますが、一般競争入札の参加者の資格に関しては、地方自治法施行令により定められております。法令上、ご提案の趣旨で参加資格を制限することは難しいです。</p>

番号	コメント内容	回答
14	<p>環境DNA調査について 興味深く感じました。 河川での調査となると魚が中心になるかと思いますが、次のようなことを教えていただけますでしょうか。</p> <p>①昆虫など他の生き物が生息しているかどうか分かるのでしょうか。 ②生息する生き物の種類だけでなく、量的なものは分かるのでしょうか。</p>	<p>①現在、昆虫等底生生物のDNAデータベースを作成しております。試行段階ですが、良好な結果が得られています。 ②量については、現在研究中です。</p>
15	<p>団体間のつながりについて 丹沢大山ボランティアネットワークというNPOなどの団体をつなぐ組織があります。 このような既存の組織を拡大するという方法があるのではと思います。 神奈川県さんも大いにかかわっている組織ですので、ご検討いただければと思います。</p>	<p>県では、水源環境保全・再生に係る県民主体の取組の推進を図るため、市民団体等の事業を支援しております。財政面以外での支援についても提言を頂き、団体相互のネットワークづくりによる市民事業の拡大・拡充を目的として、市民事業交流会を開催しております。 近年の新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、対面での交流会は中止を余儀なくされてきましたが、最近の動向を踏まえて、市民事業活動支援に取り組んでまいります。</p>
16	<p>水源環境保全事業終わったら、その後の森林がまた荒廃してしまわないか心配なのですが、その後の計画があれば教えてください。</p>	<p>大綱期間終了後については、第4期計画期間中に、有識者や環境・林業の分野における関係団体、公募委員等で構成する「水源環境保全・再生かながわ県民会議」から、これまでの取組に対する総合的な評価と、大綱終了後に向けた意見をいただきます。併せて、県民の皆様や県議会、市町村等からも御意見を伺いながら、県として取組を検証し、今後の施策の方向性を検討していきたいと考えています。</p>
17	<p>みなさま、おつかれさまでした！ 思った以上に（←失礼）有意義な内容で感動しました。 おつかれさまでした！ フォーラム中、自筆で記録したメモは社内に展開いたします。</p>	<p>今回、初めてオンラインで実施したため、プログラム等について、試行錯誤の段階ですが、視聴者の皆様からのご感想ありがとうございます。 いただいた御感想を参考に、水源環境の保全・再生に向け、引き続き、第4期計画の取組を進めてまいります。</p>